

# 西光万吉邸・永住の地 新たな発信地としてオープン

## 水平社宣言の起草者、 西光万吉の思想をうけつぐ

西光万吉邸・永住の地が6月26日、28年間暮らした紀の川市でオープンした。あらたな差別撤廃のための発信地として、大きな期待をこめ、多くの人がかけつけた。

全国水平社創立者のひとりであり「全国水平社宣言」の起草者でもある西光万吉が妻・美寿子さんの郷里に移り住み、戦争のない世界の実現をめざし、執筆活動や絵画の制作にはげんだこの居宅を改装し「西光万吉邸・永住の地」としてスタートさせた。

梅雨もあけ、太陽が照りつけるなか、多くの来賓がかけつけ、あいさつをいただき、テープカットにのぞんだ。居宅には、西光さんの背広や靴、本棚など居住空間をそのままにし、できる限り生活していたようすが残されていた。また、晩年に記された作品や絵画、水平社宣言を記したところに描かれた蘭陵王や自身を記したとされる毀釈など、掛け軸も展示されている。遺品などの管理をつづける西光万吉顕彰会が遺品を整理し、地元でのとりくみを重ねて実現した。



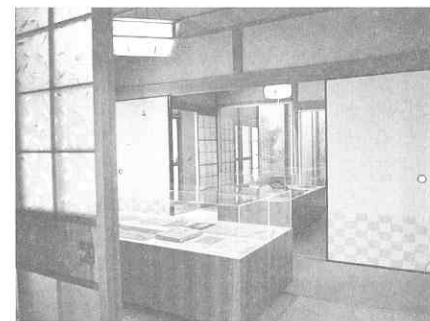
(左から)朝治武・大阪人権博物館館長、平松正昭・岩出市委員会教育長、若林誠司・那賀振興局長、加藤昌彦・西光万吉顕彰会代表理事、中村慎司・紀の川市長、藤本哲史・部落解放同盟和歌山県連合会執行委員長

### 〈アクセス〉

和歌山バス「西井阪」から徒歩5分・JR和歌山線「下井阪」駅から徒歩30分。

### 〈開館時間〉

午前10時～午後4時。入館無料(要予約)。



多くの資料がならぶ

### 〈問い合わせ〉

0736-77-7880

西光万吉顕彰会事務所、または

0736-77-7588 井阪文化会館まで。



藤本執行委員長



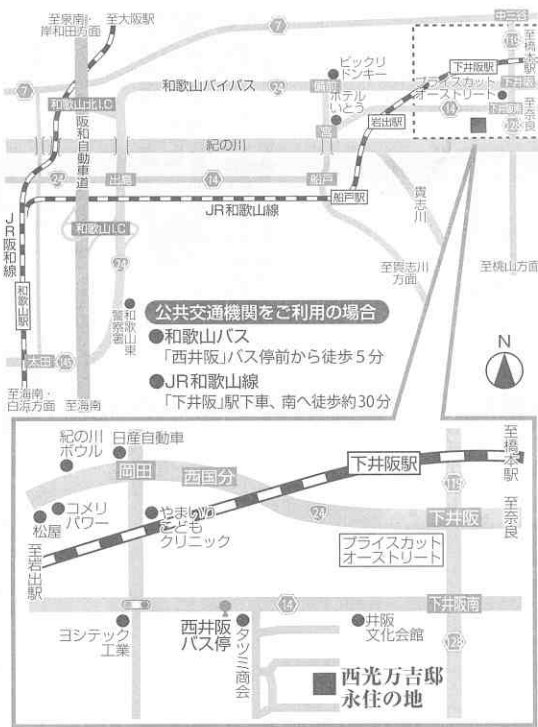
中村紀の川市長



若林那賀振興局長



司会をつとめた吉本信子さん



### 連載 (7)

## よき日のために

夜明け

かのダヴィドの共和祭典案に、行列の最後に、軍隊がゆりの花を撒いた毛氈

でおおい、王や貴族のいろいろの記章を載せて、そして一平民よ、常に人類社会に不幸を

もたらしたものは、これである——と記したものは、これである——と記したものは、これである——と記したものは、

これは近い、それは遠い、その議論は無用である。それを決定するものは、ただ、われわれの戦闘の意気と、

実行の哲学だ。起きて見る——夜明けだ。

われわれは、長い夜の憤怒と悲嘆と怨恨と呪詛と、やがて茫然の悪夢を払いのけて、新しい血にのみがえらねばならぬ。

今、インフェルノからバ

ラジンへの浄めの坂を上が

るのだ。今、よもつ比良坂を馳せ

のぼるのだ。全国内の因襲的階級制の

受難者よ。寄ってこい——夜明けの洗

礼を受けるのだ。よき日の

晨朝礼賛を勤行するのだ。起きて見る——夜明けだ。

大正11年1月25日印刷

大正11年2月5日発行

奈良県南葛城郡掖上村大字

柏原236

編集兼発行印刷人

水平社創立発起者

奈良県南葛城郡掖上村大字

柏原236

発行所 水平社創立事務所

京都市丸太町川端東北入

印刷所 同朋舎

(おわり)



玄関



木を壁に打ちつけた本棚